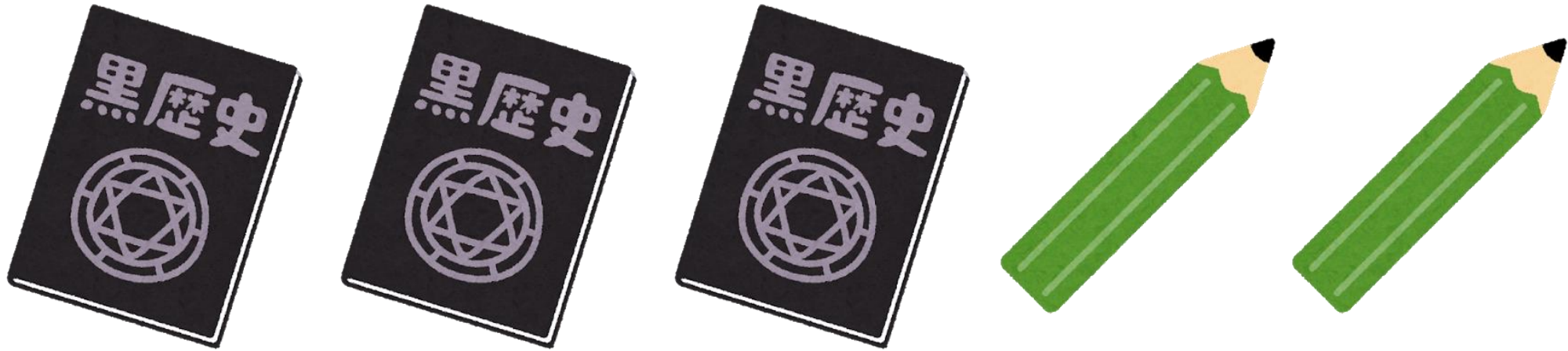


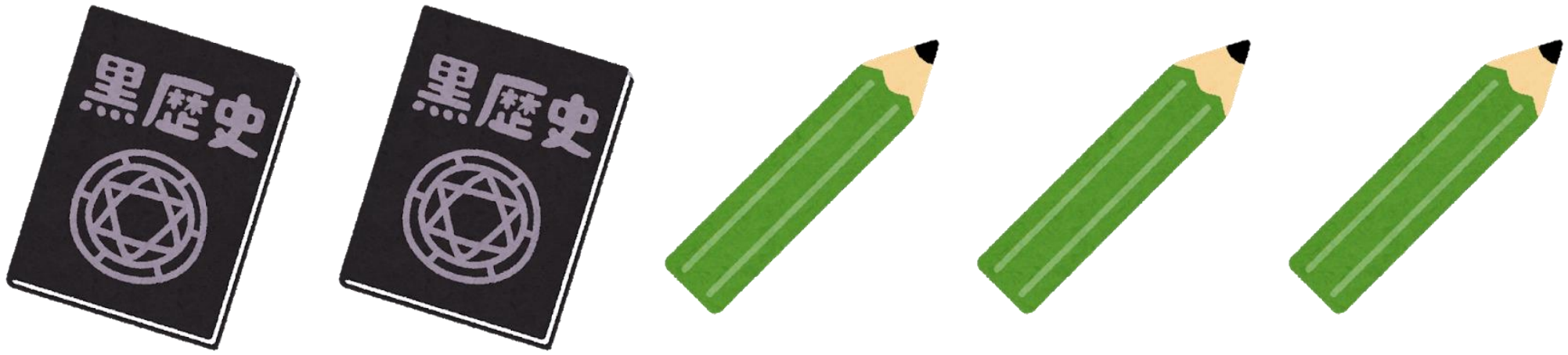
まずはこんな話から…

①



ノート3冊と、鉛筆2本を
買うと440円になる。

②



ノート2冊と、鉛筆3本を
買うと360円になる。

ノート1冊と、鉛筆1本の値段は
それぞれいくらでしょう？

あなたならどう考える？

表を使っているんな数字をあてはめてみる？

なんとかして計算してみる？

そもそもどうやって計算する？

計算する方法を考えよう！

困ったら文字を設定してしまえ！

ノート1冊の値段を x 円

鉛筆1本の値段を y 円 とすると…

① x 円のノートを3冊だから…

$$x \times 3 = 3x$$

y 円の鉛筆が2本だから…

$$y \times 2 = 2y$$

合計の値段が440円だから…

$$3x + 2y = 440$$

② x 円のノートを2冊だから…

$$x \times 2 = 2x$$

y 円の鉛筆が3本だから…

$$y \times 3 = 3y$$

合計の値段が360円だから…

$$2x + 3y = 360$$

$3x + 2y = 440$ …①を成り立たせる
 x, y の組み合わせは無数にある。

①のような2つの文字を含む
1次方程式を**2元1次方程式**という。

2元1次方程式を成り立たせる
文字の値の組を2元1次方程式の
解という。

しかし、①と②を同時に成り立たせる
 x, y の組み合わせは1つしかない。

$$\begin{cases} 3x + 2y = 440 \cdots \textcircled{1} \\ 2x + 3y = 360 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

↑
 x, y の組み合わせを見つけるために
この記号を使って2つの式を1つにする。

2つ以上の方程式を組み合わせたものを**連立方程式**という。

組み合わせたどの方程式も成り立たせる文字の値の組を連立方程式の**解**という、解を求めることを連立方程式を**解く**という。